

相続ドック NEWS RELEASE

2016年8月号

英和コンサルティング(株)
英和税理士法人

東京都品川区大崎4丁目1番2号
ウィン第2五反田ビル7F
PHONE: (03)3491-3811 <http://www.eiwa-gr.jp/>

NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE

知っておきたい！ 経営者のための最新がん医療事情

早期発見・治療のための最新検査法
噂の夢のがん新薬とは？
社長の終身医療保障を確保！



日本人の死因のトップで、2人に1人が罹るといわれるがんですが、医療技術の進歩で血液や尿検査での早期発見が可能になりそうです。一方で、高額な治療薬も注目を集めています。

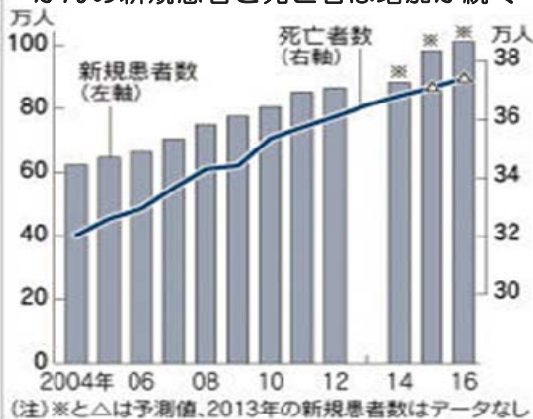
がんの最新医療情報



●がん新規患者100万人超？

先月、国立がん研究センターは2016年に新たにがんと診断される人は100万人を初めて

がんの新規患者と死亡者は増加が続く



突破するとの予測を発表。がんで今年亡くなる人は37万4,000人の予想で過去最高に。

●新規のがん患者の内訳は？

新規患者は昨年より約2万8,000人増で、男性は57万6,100人、女性は43万4,100人。部位別では多い順に大腸、胃、肺、前立腺、乳房でした。死亡者数は約3,000人増の37万4,000人の予想で、部位別では今後は胃が減り、大腸と肺は増え続ける見通しとか。

＜新規がん患者数と死亡数の予測(2016年)＞

新規患者数 (人)		死亡数 (人)	
男性	57万6,100	男性	22万 300
前立腺	9万2,600	肺	5万5,200
胃	9万1,300	胃	3万1,700
肺	9万 600	大腸	2万7,600
大腸	8万4,700	肝臓	1万8,300
肝臓	2万9,000	すい臓	1万7,100
女性	43万4,100	女性	15万3,700
乳房	9万	大腸	2万4,000
大腸	6万2,500	肺	2万2,100
肺	4万3,200	胃	1万6,800
胃	4万2,600	すい臓	1万6,600
子宮	3万 200	乳房	1万4,000
がん全体	101万200	がん全体	37万4,000

*国立がん研究センターによる。

●2030年まで患者は増える？

この予測は人口動態統計や全国がん罹患モニタリング集計などをもとに算出され、国や地域のがん対策の目標設定に役立てるのが目的。高齢化を背景に30年ごろまで新たながん患者は増える見通しで、急速な対応が求められます。

●米国は死亡者数が22%減！



米国がん協会の昨年の発表資料によると、米国ではがん死亡者が過去20年間で22%減ったとか。1980年代にがん検診が普及し、早期に発見されやすくなったためとされています。

●がんの5年生存率60%超す！

国立がん研究センターが先月発表した「5年生存率」の全国推計値は62.1%で、3年前の前回調査より3.5ポイントの上昇。前立腺がんや乳がんなど、治りやすいがんの患者が増えたことが生存率向上につながったと考えられます。

<治療の目安は5年生存？> 5年生存率とは診断された患者が「5年後に何%生存しているか」をいい、医学分野で特にがん研究では必ず用いられる。多くのがんでは5年間生存すれば、そのがんは治癒したと考えられる。

<5年生存率の高いがん> 部位別生存率

順位	男 性		順位	女 性	
1	前立腺	97.5%	1	甲状腺	94.9%
2	皮膚	92.2%	2	皮膚	92.5%
3	甲状腺	89.5%	3	乳房	91.1%
4	ぼうこう	78.9%	4	子宮体部	81.1%
5	喉頭	78.7%	5	喉頭	78.2%

がん検診・治療の最前線！

●診断技術は日進月歩！

がんは早期発見・早期治療が大変重要です。実用化をめざす最先端技術を紹介しましょう。

<13種類のがんが一度の採血で>

2014年に、新エネルギー・産業技術総合開発機構や国立がん研究センターなどが、日本人に多い胃・肺・肝臓・乳がんなど13種類のがんを一度の採血で診断するシステム開発への着手を発表。血液などに分泌される「マイクロRNA」を調べる診断法で、0.7mlの血液サンプルで早期発見が可能になるという。2019年ごろの実用化をめざす。

<ステージ0の超早期がんも血液で>

神戸の医療特区にある(有)マイテックというベンチャー企業が血液を1滴たらすと3分後に診断できるバイオチップを開発。がん細胞が免疫細胞から攻撃を受けると出る物質を判定することで、進行度合いまで分かり、画像検査や内視鏡検査ではわからない小さいがんも発見可能。現段階で大腸・胃・膵臓がんが診断でき、1年後の実用化をめざす。

<唾液でがんを発見>

慶応大学先端生命科学研究所では唾液でがんを発見する方法を研究中。がん患者にだけ出てくる特殊物質を利用して診断する。現在、口腔・乳・すい臓がんの診断が可能。今はまだデータが少ないのでデータを増やし、早期の実用化をめざす。

●米国天才高校生が開発？

海外からはこんなニュースも。米国の15歳の高校生が開発した「すい臓がん早期発見法」が注目されています。すい臓がんで亡くなった人といえば、スティーブ・ジョブズが記憶に新しいところ。すい臓がんは早期発見が難しいともいわれています。

<200通のうち1通の返信が！>

高校生のジャック・アンドレイカは親しい叔父をすい臓がんで亡くしたことが開発の動機。インターネットを駆使して論文等から検出方法を研究。自宅での実証実験が不可能なので、各地の大学研究室や、すい臓がん研究者に200通もの手紙を書き、先端医学を手掛けるジョンズ・ホプキンス大学から返信があった。研究室に招かれ、実験方法の修正、7カ月の研究の後、成果を得た。

費用はたった3セント、時間にして5分、従来に比べると168倍速く、26,000分の1の費用で、精度は400倍に。早期発見が可能になれば、すい臓がんの2~5年生存率は現在の5.5%から100%近くになるかも？

●九州大学の「線虫」は尿1滴で！

2015年に九州大学の研究チームががんを簡単に検査できる画期的な方法を開発したと発表。この方法のどこが画期的かというと、尿1滴で検査できること。今までは血液検査、機械による検査、尿検査が主流でしたが、これらは時間もお金もかかります。

●数百円程度で1時間半で！

「線虫」という長さ1mmほどの微生物を使った尿検査で、1時間半ほどでがんの有無を95%以上の確率で発見できるというものです。

<線虫はがんの匂いが好き？>

線虫(C.elegans)は犬並みの嗅覚を持ち、好きな匂いに集まる習性があり、がん患者の尿には誘引行動を、健常者の尿には忌避行動を示すことが分かった。テストをした数10種類のがんすべてに反応を示しただけでなく、早期がんに対する反応も確認された。診断結果は感度(がん患者をがんとして診断できる確率)は95.8%、特異度(健常者を健常者と診断できる確率)は95.0%だった。

●続々開発される新検査法！

日立製作所と住友商事子会社の住商ファーマインターナショナルは6月、がん患者の尿に含まれる脂質や糖などの量が健康な人とは異なることを突き止めたと発表。がん早期発見の尿検査の開発につながる成果で、今後、乳がんを対象に実用化を進めるそうです。

●肝臓がんを遺伝子で6分類

日本人の肝臓がんは原因となった遺伝子に

よって6つのタイプに分類できることを、国立がん研究センター、理化学研究所、東京大学などが突き止め、今年4月、米科学誌ネイチャージェネティクスに発表しました。

＜タイプ別に効果的な治療薬を＞
 300人の肝臓がんゲノム(全遺伝子情報)の解読で分類がわかった。従来は同じがんは同じ抗がん剤で治療することが多いが、近年、がん特定の原因遺伝子の異常によって生じるたんぱく質を抑える「分子標的薬」が登場し、効果が上がっている。今回、日本人に多い遺伝子異常のタイプが分かったことで、タイプ別の治療薬開発が期待される。

日本では肝臓がんの5年生存率は約35%、10年生存率は約15%と低く、有効な治療薬の開発が求められています。

●夢の治療薬は超高額？
 小野薬品工業の「オブジーボ」などの高額医薬品に対する風当たりが厳しくなってきました。末期がんにも効く画期的な新薬ですが、費用は高額で、重篤な副作用も報告されたことから厚労省も重い腰を上げたようです。

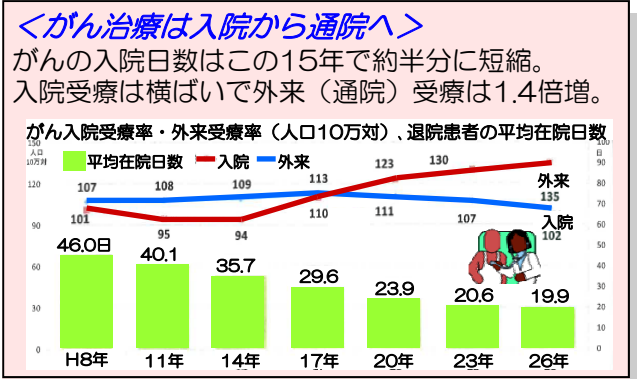
＜がん新薬オブジーボとは＞
 これまでになかったメカニズムで抗がん作用を示し、2014年9月に皮膚がんの一種の治療で国の認可を受け、昨年末には肺がんの一部でも適用が広がった。手術のできない末期患者にも劇的な効果があり、発売当初は「夢の新薬」と評された。体重60kgの肺がん患者が1年間(26回)使用すると年間3,500万円と高額。

●夢の新薬か亡国の新薬か？
 仮に患者5万人がオブジーボを1年使用すると年間1兆7,500億円。日本の年間医療費約40兆円のうち、約10兆円とされる薬剤費が2割近く跳ね上がることに。高額療養費制度により患者の自己負担は月額8万7,000円ほどで、その残りは国費や健康保険料で賄うこととなります。この新薬で「国民皆保険制度の維持ができなくなるのでは」と懸念する声も。

●適正投与指針の第1号に！
 厚労省は抗がん剤などの高額な新薬の適正使用化に乗り出し、2016年度末までに指針をまとめ、早ければ17年度中に適用予定。新薬は1回あたりの価格が数万円以上に上り、医薬品メーカーの年間売上も1,000億円規模になるものもあります。オブジーボが指針第1号となり、指針を満たさない場合は、健康保険や高額療養費制度が適用されない方針です。

経営者の医療保障を確保
●社長のもしもの時の保障は

経営者の死亡保障も大事ですが、がんや心疾患、脳卒中などの病気への備えも必要。特にがんは早期発見、早期治療で完治も可能で、近年の入院日数の短期化、治療技術の進歩を考えると古いタイプのがん保険では不十分でしょう。



●先進医療特約は付けていますか？
 加入されている医療保険やがん保険の入院給付は何日目からですか？ 最近の保険は日帰り入院から出ます。健康保険がきかない先進医療の費用を実費で補てんしてくれる「先進医療特約」は必ず付けることをお勧めします。

＜先進医療の種類と技術料＞

技術名	平均技術料	平均入院期間	実施件数
重粒子線治療	3,086,341円	12.1日	1,889件
陽子線治療	2,680,805円	13.0日	3,012件
自己リハ 球移入	397,019円	3.3日	116件
水晶体再建術	535,218円	1.2日	9,877件

出典：厚生労働省「第38回先進医療技術審査部会」資料
 調査期間：2014年7月1日～2015年6月30日

●全損で備える社長の医療保障

①がん・急性心筋梗塞・脳卒中に備える！
がんと診断された場合や、急性心筋梗塞・脳卒中で60日以上働けない場合に、疾病保険金が払われる経営者向けの大型保障保険。

【例】40歳男性 疾病保障保険 保険金1億円
 年払保険料 355万円
 全額損金算入
ピーク8年目 返戻金2371万円 返戻率 83.5%

②短期払いが完了したら、個人の保険に！
 高齢化社会では、がんや医療保険は終身保障が必須。会社で**短期払い**を全損で加入し、払込み完了後に名義変更して**個人の終身保障**に。

【例】52歳男性(60歳払込) 入院給付日額2万円
 年払保険料 58万円
 全額損金算入
61歳時 個人へ 20万円